

市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎広報広聴課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援

平成31年1月1日号への掲載の申込みは、11月16日(金)までに、広報広聴課
✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719

広報みしま	締切日
平成31年2月1日号	12月21日(金)
3月1日号	平成31年1月25日(金)
4月1日号	2月26日(火)

文化

押し花アート、編み物(手編み・機械編み)、手織りの作品展

☎①11月8日(木)正午～午後5時②9日(金)午前10時～午後5時③10日(土)午前10時～午後4時※開催中は押し花でしおり作りの無料体験コーナーもあります☎商工会議所TMOホール 岡渡辺ニッティングスクール・南部 ☎975・8921

伊豆史談会例会講座

☎11月11日(日)午前10時～正午☎郷土資料館1階多目的室(楽寿園内)☎演題:ふるさと三島の交通☎伊豆史談会副会長:関守敏さん☎300円(楽寿園入園料※市内在住の70歳以上の人は入園無料。要身分証明書)☎土屋 ☎971・3265 ※会員募集中

第29回 MOA 美術館 三島児童作品展全作品展

☎11月17日(土)、18日(日)午前10時～午後7時(18日は午後3時まで)☎生涯学習センター3階多目的ホール・市民ギャラリー☎市内の小学1年～6年生から応募された「絵画」「書写」の全作品を展示☎MOA美術館三島児童作品展実行委員会事務局・高見 ☎0557・84・2510

三島マンドリーノ・ドルチェ 第14回定期演奏会

☎11月25日(日)開演1時30分☎長泉町文化センター☎演奏曲:ロミオとジュリエット、太陽がいっぱい、ジュピター、劇場支配人、雲の行方など☎無料☎望月 ☎986・9783

スポーツ・健康

「集まれ!第4回真冬の大会」 からだを使って楽しく遊ぼう

☎12月1日(土)午前9時30分～11時30分☎北小学校体育館☎軽い運動、ボール投げ、健康運動指導士によるストレッチや姿勢確認など☎年長～小学生とその保護者☎1人100円(保険代など)☎50人☎うわばき、飲み物、着替えなど☎☎☎11月25日(日)までに後藤 ☎986・3872

三島剣道スポーツ少年団・団員募集

☎毎週火曜・金曜・土曜日午後7時30分～9時30分☎北中学校格技場☎幼稚園～中学3年生☎村松 ☎080・3068・3449

三島吹き矢同好会会員募集!

☎土曜日(月3回)午後1時～4時☎市民体育館2階☎吹き矢の練習、月例会☎費月500円☎☎☎岡渡辺 ☎971・4733、大嶋 ☎988・4840

その他

女性を対象とした支援事業に 応募してみませんか?

☎支援内容①女性のための教育・訓練賞②女子学生奨学金☎①扶養家族を抱えながら生活向上のための資格習得を目指している女性②向上心を持ち、毎日を励む大学院・大学女子学生、専門学校女子学生※給付人数、給付額などの詳細は問合せ先☎☎☎11月10日(木)までに▶国際ソロプチミスト 駿河・野木 ☎090・2578・2700 ▶国際ソロプチミスト伊豆天城・梶谷 ☎987・6960

上岩崎公園秋まつり

☎11月10日(土)午前10時～午後3時※小雨決行☎上岩崎公園(文教町)☎地域の皆さんの交流の場、手作り品や参加型ワークショップ、音楽演奏や地元グルメ販売、活動PRなど☎ジモット ☎986・2133

第36回核兵器をなくし平和をつくる 三島市民のつどい

☎11月17日(土)ロビー展示午前10時、開場午後1時、開演午後1時30分☎市民文化会館小ホール☎朗読:終わりの始まりに～核兵器禁止条約のすべての国で～、平和へのメッセージ▶合唱組曲:初恋物語合唱団「初恋物語」☎小学生以上500円☎核兵器をなくし平和をつくる三島市民の会・瀬古 ☎987・1859

静岡いのちの電話 市民講座

～生きづらいつ若者をどう支えるか～

☎11月17日(土)午後2時～4時☎市民文化会館3階第2会議室☎不登校や引きこもりなど生きづらさを抱えてい生きる若者をどう支えるか☎服装部織江さん☎30人☎静岡いのちの電話事務局 ☎054・272・4344(平日:正午～午後6時)左記時間以外は☎050・3701・4344

大学で学ぼう～日大バージョン～

☎11月18日(日)午前8時50分～午後0時30分☎日本大学国際関係学部三島駅北口校舎☎講義:日本とロシア友情の船へダ号について学ぼう▶体験:ヘダ号を作ろう☎無料☎東部の知的障がい者などの社会人☎☎11月17日(土)までに沼津特別支援学校高等部・伊賀 ☎966・0980

地域交流まつり2018～絵がOH!～

☎12月8日(土)午前10時30分～午後2時30分※雨天実施☎生活介護事業所えがお敷地内(新谷)☎ステージイベント、缶バッジ作りなど各種ワークショップ、模擬店、自主製品販売、大抽選会など☎生活介護事業所えがお・深澤 ☎976・2800

歴史の小箱

No.366

地域の歴史

大場と大場駅

今回は市南部の中心、大場駅周辺を紹介します。

企画展「近代三島を作った人々―後期：経済・文化編―」を開催！
開催期間は10月13日(土)～平成31年1月3日(日)です。

郷土資料館 ☎ 971・8228

大場は大場川下流の東に広がる水田地帯です。古くは北沢、上沢(函南町)とともに佐婆郷の一村でした。約二百年前の地誌『豆州志稿』を見ると「大場の地名は場所が大きいことによる」「伊豆山(神社・熱海市)の古記録には大庭と記され、天正十八年(一五九〇)の太閤文書に澤郷とあり後に古名に戻して大場となった」といった解説がされています。

またこの集落は、伊豆半島を南北に縦断する下田街道の途中にあり、東へ向かうと日金山(十国峠の麓)や、伊豆の東海岸・熱海などへ通じる分岐点で、交通の要衝でした。

大場が大きく発展するのは明治三十一年(一八九八)、豆相

鉄道(後の駿豆鉄道、現在の伊豆箱根鉄道)が開通し、大場駅が開業した頃からです。



▲昭和15年(1940年)7月大場神社の祭典

その後、大正七年(一九一八)に箱根山の下を通る鉄道のトンネル開削工事が始まります。それまで箱根山の北側を回っていた(現在の御殿場線経由)東海道線は、この丹那トンネル開通により、東京―神戸間の距離と乗車時間が大幅に短縮されました。丹那トンネルは、開通までに十六年の工期と多くの犠牲者を出して、昭和九年(一九三四)に完成し、長く日本一の長さ(全長約七千八百m)を誇りました。トンネルの西側の入口は現在の函南町大竹(函南駅の東側)です。工事に必要な大量の資材は鉄道を利用して運ばれ、東海

道線三島駅(現在の下土狩駅・長泉町)から駿豆鉄道を經由し、大場駅で降りられました。駅の東側一帯は広大な資材置き場でした。大場駅から工事現場まで軌道が敷設され、軽便鉄道が多くの作業員や資材を運んでいました。

昭和初期の大場駅周辺には、丹那トンネル工事の関係者が集まり暮らしていました。そこに昭和五年十一月、丹那盆地を震源とする北伊豆地震が発生します。当時の大場の総戸数二四九戸の内、住居の全壊一五一棟・半壊六一棟、死者九人・負傷者五十人という大きな被害を受けています。

この震災からの復興事業が進められ、トンネル工事景気も加わり、大場駅周辺は地域の中心となる商店街に生まれ変わっていきます。トンネル工事が終わると、資材置き場などには、乳製品工場、製靴工場が建ち、工業地域化が始まりました。

大場駅は一二〇年にわたり大場の変貌を見守り続けています。

わたしのおじいちゃん

当番 ふしみ りょうさん

僕のじいじは、僕が生まれる前から聴覚障がいをもっています。じいじは、僕の声や僕が弾くピアノの音を聞きたいと、昨年人工内耳の埋め込み手術をしました。今は、リハビリなども続けていて、話の半分は聞き取れるようになったので、もっと聞き取れるようになって、じいじともっと話をたくさんしたいです。じいじは今も仕事をしていて忙しいけれど、夜や休日によく、将棋をしてくれます。明るくて優しいじいじと、これからも将棋をしていきたいです。



佐藤洋司(75才)

伏見 怜(沢地小6年)